

講師プロフィール



高さ70センチのごみ箱を軽々と超えていく。桂川にかかる保津大橋下、京都府亀岡市保津町の保津川プレイパーク。亀岡育ちのスケボーユーザー、中澤克哉さん（29）が、「日本一」と称されるジャンプ技「オーリー」

スケボーとの出会いは16歳。デビューは遅いが、オリンピックを目指して器械体操をやめ、京都市内の練習場所まで駅から往復10キロをスケボーで通う、スケボー漬けの日々。高校2年でスポンサーもついています。

学校行事でスケボーの本場、サンフランシスコにホームステイしたことや、スケボー環境が充実している海外事情を知り、高校卒業と同時に単身、オーストラリアに渡った。数カ月でホームレスになったり、炎天下でひたすらタマネギを収穫する仕事で食いつないだりと、2年間、苦勞しながら技を磨いた。

このころから「プロとして食っていくのは無理」と思うようになっていたが、「一生スケボーしたい」との思いは揺るがなかった。どうすべきか。帰国後、スケボー廃材で作ったアクセサリ販売や、焼き栗販売、ラフティングガイドなどで稼ぎながらスケボーを続け、元号が令和に切り替わった2019年5月、YouTubeでの動画配信を開始。パソコンや経営も学び、22年5月、ついに自身のスケボーショップ「LEAPS」を開業した。

自らの名前が入った板を手にする中澤さん。韓国の大手スケボーメーカー「ティンバー」が中澤さんをプロライダーと認め製造した（亀岡市北町・LEAPS）

ジャンプの高さを競う各地の「ハイオーリー大会」では1メートル越えを続け、負け無し。新型コロナウイルス禍一人で遊べるスケボーが人気となる中、動画が拡散され「オーリー日本一」の称号もつけられた。ユーチューブのフォロワーは約18万人。技だけでなく、生き様から紡ぎ出された、熱く、純粋な言葉も人を引きつける。

今村 怜也（いまむら ときや）

- LEAPS メンバーライダー
- 京都エリアを中心に活動するスケーターのひとり
- コンテスト成績や活動で地域シーンに関与している存在として知られる（競技結果記録にも名前あり）

岩田 祐介（いわた ゆうすけ）

- LEAPS 所属ライダー
- フィルム作品にも複数出演するライダーとして活動
- チームとしての映像プロジェクトにも関与

青木 勇貴斗（あおき ゆきと）

- LEAPS メンバーライダー
- チーム映像“to:”など複数プロジェクトに参加するスケーター
- 亀岡・京都のシーンでライダー活動を継続

など。